

2017年3月号(第68号)
発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com
http://totsukashakyo.com/

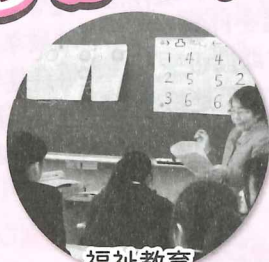
社協とつか

ご存知ですか？戸塚区社会福祉協議会

ガイド
ボランティア研修



福祉教育



地区社協視察



善意銀行



とつか
ハートプラン

各種講座



地域活動



障害者週間
シンポジウム



赤い羽根
共同募金運動



集合住宅団地
つながる連絡会



社会を
明るくする運動



災害ボランティア
シュミレーション



社協とつか編集会議



誰もが安心して心豊かに
暮らすことのできる
地域社会の実現



★ミニ知識 ①

社会福祉協議会は、いくつあるの？
職員は何人いるの？

全国社協…1ヶ所(東京都) 約130人
都道府県・指定都市社協…約70ヶ所
約15,000人
市区町村社協…約1,800ヶ所 約134,000人
戸塚区社協…23人 (平成27年現在)

★ミニ知識 ②

社会福祉協議会(社協)とは？

住民・ボランティア・福祉事業者・福祉保健活動団体などが、地域社会を構成する一員として相互に協力して、地域福祉の推進をおこなう社会福祉法第109条にもとづく民間団体です。

みなさんの活動を応援しています

とつかハートプラン 「地域福祉保健計画の推進」

区民・福祉保健活動団体の皆さんと地域ケアプラザ・区社協・行政等と協働でつくり、進めている計画です。今年度より第3期（平成28年度～32年度）が始まりました。区計画に加え、連合町内会自治会・地区社協のエリアごとに「地区別計画」ができました。



取材メモ

第5回集合住宅団地つながる連絡会開催しました。
平成28年8月30日、区内集合住宅関係者の方々が集まり、見守り活動をテーマに熱く語り合いました。当日は、市内2事例の発表や情報交換などを行い、見守り活動の推進には、日頃からの声かけや交流が大切であることを再認識しました。（編集委員 H）



しゃかいを明るくする活動の支援 「福祉保健活動団体支援」

区内で活動する福祉関係団体5団体の事務局や活動支援をしています。神奈川県共同募金会横浜市戸塚区支会、日本赤十字社戸塚区地区委員会、戸塚保護司会、戸塚区更生保護女性会、戸塚区遺族会

取材メモ

戸塚区更生保護女性会バザー開催しました。
第56回戸塚区更生バザー（平成28年8月27日）を開催しました。住民から食料品、日用品などを提供していただき、販売をしました。売上金は、犯罪や非行のない明るい社会を築くための活動に活用されます。（編集委員 I）



つながり支えあうまちづくり 「小地域ネットワークの推進」

様々な地域福祉課題の解決のため協議・検討する場の開催、福祉保健活動団体のネットワーク作りをしています。現在は、見守り活動の推進を目的とした「地域ネットワーク訪問事業」、「集合住宅団地つながる連絡会」、「社会福祉法人と地域つながる連絡会」などを開催しています。

かつかくの場の提供 「福祉保健活動拠点 フレンズ戸塚」

区内で活動する福祉保健団体へ会議や活動場所の提供をしています。



グリーンのラインが目印です。

くなくないに福祉情報の発信、福祉啓発 「社協とつか・福祉啓発」

様々な福祉に関する啓発活動を行っています。障害啓発は、区内障害団体・施設等と協力し、障害者週間シンポジウムを開催しています。また、社協とつかやホームページ（<http://totsukashakyo.com/>）等で福祉に関する情報や地域活動を紹介しています。



取材メモ

障害者週間シンポジウム開催しました。
障害者週間シンポジウム「とつかで暮らす」（平成28年12月7日）が開催されました。今年のテーマは、「働く」です。基調講演は、榎日立ゆうあんどあい 代表取締役社長鈴木巖氏の講話でした。榎日立ゆうあんどあいは、親会社と資本・業務の上で緊密な関係を持ち、障害者の雇用を推進するため特別な配慮がなされた特例子会社です。会社なので、しっかり黒字にしないといけないこと、研修を通じ自立出来るように導いているということでした。鈴木氏の講話に会場の皆さんは、熱心に聞き入っていました。（編集委員 O）



★ミニ知識③

社協の財源は？

正会員からの会費、活動にご賛同いただける地域の皆さまからの世帯会費、会社・法人・個人からの賛助会費、共同募金、年末たすけあい募金の配分金、区民の皆さまからのご寄付（善意銀行）、行政等からの補助金・委託料等が主な財源となっています。

うれいね、その気持ち 「善意銀行、戸塚区社協ふれあい助成金」

善意銀行は、区民からの善意に基づく金銭、物品をお預かりし、地域の福祉保健活動団体に配分しています。また、戸塚区社協ふれあい助成金は、赤い羽根共同募金、善意銀行などを活用して、ボランティアグループ、地域福祉保健活動団体等に活動支援を行っています。



取材メモ

赤い羽根共同募金運動
平成28年10月1日「赤い羽根共同募金にご協力お願いしまーす。」民生委員・児童委員の声で戸塚駅コンコースに響きます。小さな子どもが「ご苦労様」と、杖をついたおじいさんが「細かいのあるだけー」とジャラジャラ。赤い羽根の募金箱には、みなさんのあたたかい気持ちがいっぱい詰まっています。（編集委員 N）



連載

福祉人材シリーズ

戸塚の輝くひと vol.6

「I LOVE 上矢部」

一仕事内容を教えてくださいー
年を重ねても安心して、いつまでも地域で住み続けられるよう、生活を支える体制作りや、介護が必要にならないよう介護予防の充実したまちづくりを目指し、環境整備を進めています。

一なぜこの仕事に就きたいと思われたのですかー

高校生の頃、デイサービスなどのボランティア活動をしていました。色々な人と接していて、刺激をもらい、人と接することがおもしろいと思いました。

一仕事の魅力を教えてくださいー

地域の皆さんとつながること、地域の魅力などを発見できること。愛着がわいてきます。

一「社協とつか」読者へメッセージをお願いしますー

福祉情報だけではなく、地域のイベント情報なども発信しています。交流できるスペースもあるので、ぜひお越しください。

社会福祉法人 であいの会
横浜市上矢部
地域ケアプラザ

生活支援コーディネーター
やなぎだ ゆうこ
柳田 裕子さん



1列目一番左が柳田さん、中央は加藤所長です。

ボランティアグループ
いいじいの
皆さんと

地域ケアプラザと
地域福祉を推進中！

こんな時はぜひご相談ください。

* 利用に際しては、諸条件、利用料金等が発生する場合があります。事前にご相談ください。 * 祝日・年末年始を除く。



送迎サービス

公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害のある方に対し、福祉車両をボランティアが運転し、送迎を行います。

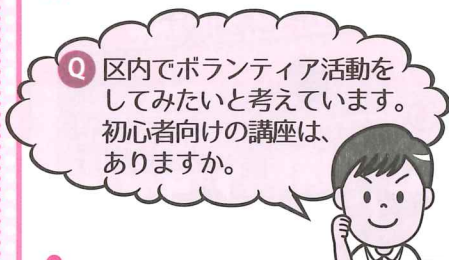
窓口開設時間: 月～金 9:00～17:00
TEL: 045-866-8434



戸塚区社協あんしんセンター

高齢者や障害者の生活や金銭管理、成年後見制度などに関する相談をお受けします。

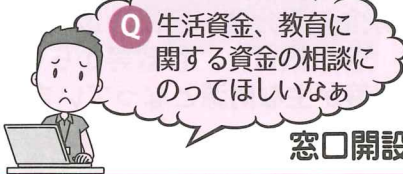
窓口開設時間: 月～金 9:00～17:00
TEL: 045-869-3139



とつかボランティアセンター

ボランティア活動をしたい人、ボランティアを必要としている人の相談を行っています。ボランティアに関する様々な相談や事業を行っています。

窓口開設時間: 月～土 9:00～17:00
TEL: 045-866-8483



生活福祉資金の貸付

※来会前に必ずご連絡ください。

低所得者や高齢者、障害者、離職者からの資金の相談を行っています。相談を通して世帯の自立更生や社会参加等の促進を図ります。

窓口開設時間: 月～金 9:00～17:00 TEL: 045-866-8434



戸塚区移動情報センター

障害児・者が外出するための相談や情報提供の窓口です。外出の目的や行き先などニーズに沿った情報提供を行います。

窓口開設時間: 月～金 9:00～17:00
TEL: 045-862-5091



お知らせ

平成29年度 各種ボランティア保険受付のご案内

3月1日(水)より下記の保険の受付を開始します。

〔ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償〕

平成28年度の申込用紙・振込用紙は平成29年度の保険加入手続きには使用できませんのでご注意ください。

平成29年度から
ボランティア活動保険の
保険料が右記のとおり
変更されます。

基本タイプ	Aプラン	300円 → 350円
	Bプラン	450円 → 510円
天災タイプ	Aプラン	430円 → 500円
	Bプラン	650円 → 710円

なお、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償の保険料に改定はありません。

問い合わせ先: とつかボランティアセンター TEL 045-866-8483

編集後記

本号では皆さんが知っているようで知らない社会福祉協議会を特集しました。全国で15万人の社協職員がみなさんを応援してくれています。

ぜひ本号を「保存版」として何か困りごとが起きた時には、相談して下さい。

(編集長 大副 祥一)

ご案内図

